

## 審きの後の回復

ミカ書 4 章

シオンの娘よ、産婦のように苦しんでうめけ。あなたは今、町を出て野にやどり、バビロンに行かなければならない。その所であなたは救われる。主はその所であなたを敵の手からあがなわれる。(10)

旧約の預言者たちは、人々が平安だと思つて気ままに生活している時代には、民衆が予想もできないような厳しい主による審きの言葉を語りました。

しかし、主の審きを受けて苦しみの中に絶望している人々に対しては、主の憐れみによる回復があることを力強く語りました。この章でミカはまさに、主の審きを受けて悲惨な状況に陥り、望みを失っていた民に向かつて回復を預言しました。イスラエルの民は主の審きを受けてバビロンに行かなければならないことが告げられます。しかしそれで終わりではありません。「その所であなたは救われる。主はその所であなたを敵の手からあがなわれる」とミカは語ります。大きな苦しみの中にいるとき、人はそこでなお希望を見出して生きることが難しくなります。そのときこそ、主の言葉を語る預言者が活躍する時です。真の預言者は偽りの平安を告げるのではなく、審きの向こうに確かな救いがあることを約束するのです。現実の状況に心を奪われて、暗闇の向こうに光があることを人々が信じられなくなっているとき、主の言葉によって確かな希望を語る事ができるのです。

わたしたちがどんな苦境に立たされても、なお希望をもつて生きることができるのは、真実な主の言葉によつて将来に光を見出すことが出来ているからです。